

# 憲法9条改悪発議許さない



発行：日本共産党  
伊那市委員会  
伊那市狐島3879  
TEL：72-2465  
ホームページ  
「JCP上伊那」



## 3千万署名で改憲阻止へ

憲法9条改悪の阻止、安倍政権の退陣を求める行動が11月、伊那市の各地で取組まれました。特別国会の衆参両院で行った安倍首相の所信表明演説に対し、市民からは「中身もなく、国民に向き合う姿勢もない」「国会軽視の首相を退陣させよう」「改憲発議を阻止しよう」との声が広がっています。

### 民主団体、共産党が署名行動

安倍首相が憲法9条に自衛隊を書き込むことを来年の国会に発議することを狙っているのに対し、伊那市では9条の会、新婦人、民商、医療生協などの民主団体と日本共産党が「安倍9条改憲NO！市民アクション」が呼びかけた3000万署名に取組み、国民の圧倒的世論を盛りあげたいとしています。

### 住民の3割を目標に

### 東春近の民主団体

東春近では9条の会や医療生協支部、共産党支部などが、人口の



署名をお願いする東春近支部員（中）と唐沢ちあき県党常任委員（右）

3割余・1800人の署名目標達成をめざしています。九条の会は、110名の会員にニュースや「改憲阻止署名用紙」などを届けています。医療生協支部は、毎週の高齢者訪問や増資などの取り組みの中で署名を集めています。

また、共産党支部は、党支持者らに衆院選の結果報告や党勢拡大と署名をセットで訴え集めています。25日現在110人分を集めています。

### 連携し楽しく行動を 新婦人伊那支部



冷たい風の中「安倍改憲NO！」の署名に取り組む支部のみなさん。他団体との連携も視野に入れて。

### 改憲阻止に共産党は主力

日本共産党伊那市委員会は、安倍内閣が進める、日本がなんの制約もなく海外で武力行使をするという国づくりに向けた動きに、市民と改憲に反対する野党が国会と日本中で力を合わせて、「9条改憲」発議を許さないために、「改憲NO！」の署名や宣伝などに全力を上げ、急速に世論を盛り上げたいと求めています。

**議 登**  
議員が議案を議院の議に付することを求めること

### 地 蜂

安倍政権による臨時国会での冒頭解散、民進党が解党し希望の党に合流するという逆流の中で、当選区でも「小池人気」にあやかっただけ候補がも

たらした結果に改めて怒りがこみ上げます。身を挺して立ち上がった曾我さんと、これを推してたたかった人々に心から敬意を払うのですが：「統一すれば絶対勝利できた」の思いがやみません▼保守王国といわれたお隣新潟では、6選挙区中で自民の当選は2人だけ。市民・野党共闘側が4議席を占めました。敗れた5区では反原発を装いながら自民党公認となった前知事泉田裕彦氏91,855票。これと戦った前魚沼市長・無所属新人の小平悦子氏は79,655票を獲得し善戦しています。4区では自民の金子恵美氏が討論会で無所属の菊田真紀子氏に對して「無所属で当選しても仕事はできない。共産党に入るのか」と挑発すると、菊田氏は「原発に体を張り、賛成できないと言ってこそ新潟の国会議員だ」と反論、この菊田氏が3野党比例得票の16.2%を獲得、大差で勝利しました▼共闘に献身した共産党への信頼は高く、無所属候補関係者も『比例は共産党』と有権者に働きかけ、四選挙区で自民党を打ち負かしたのです。(Y・K)

# 寒風の中 戦争法・共謀罪廃止訴える

## 平和憲法を守れ!

### 市内各地で共同行動

11月3日、午後1時ベルシャイン伊那店前と手良の中坪交差点で、20日は午前7時15分から高遠の三峰川橋たもとや竜東橋北交差点で伊那地域の九条の会の会員らが「平和憲法を守ろう」「憲法9条の改悪を許さない」などの看板等を掲げたスタンディングに取り組みました。通りかかった市民から、「寒い中よく頑張っているね」「戦争させてはだめだ」などの励ましの声が寄せられました。

## 「共謀罪廃止」の訴え

### 伊那市の共産党

共産党伊那市委員会は、10日午前7時半から平成大橋たもとで11人が「共謀罪NO!」などの看板を掲げ共謀罪法の廃止を呼びかけました。



西山の頂に雪が来て、寒風が吹く中で、地道に休まず行動



手作りの新しい看板でアピール (東春近九条の会)

## 満蒙開拓記念館を見学

### 高遠町9条の会

11月12日(日)高遠町9条の会では、「第5回平和の集い」

の催しとして、阿智村にある満蒙開拓平和記念館を訪ねました。当日の参加者は9名、集いに初めて参加した男性は「叔母が満蒙開拓に行っていて、帰国はできませんでした。兄弟を亡くした悲しみを思うと、二度とこのようないことが起こってはいけません」と語り、叔母さんが掲載されている新聞記事を見せてくれました。日本は戦前、中国に満蒙開拓団として多くの国民を送り出しましたが、全国で長野県が一番多く送りこみました。「開拓団」の名のもと、中国

## 平和のために 個人や団体をつなぐ役割を!

### 伊那谷 市民連合



先の衆院選に「野党」と市民の統一候補として立候補した曾我逸郎氏の後援会は、12日夜、中川

村の望岳荘で、「報告と交歓会」を開催しました。会には、選挙協力した共産、社民、緑の党、上伊那での立ち上げを目指す立憲民主党の関係者を含め約80人が参加しました。曾我氏は、「時間もお金も無

い中でのたまたかだったけど、知り合いも増えて楽しかった。若い人が政治に関心を持つていないので、憲法9条を変えたらどんな世の中になっていくのか想像力を豊かにしていく運動が必要」と話し、「このつながりをいろいろなところに広げたい。」との抱負を語りました。上伊那では、27日、「連合」事務局会議が開かれ、今後の取り組みについて話し合われました。

に渡り戦争で帰国できなかった多くの方の無念さや、帰国を果たしても生きていくことの苦しさや伝わりました。その後、昼神温泉にて休憩、飯田市内の見学をして帰りました。(石川)

## 私たちのための ロウドウ学校開催

「勤め先の待遇などでおかしいなど感じることや変だなと感じることはありませんか?このモヤモヤみんな考えてみませんか?」上伊那Out-Reachと上伊那学習協主催で「私たちのためのロウドウ学校」を開催しました。「臨職、正職、自営業」「中小企業の勤め人、大企業の勤め人、自治体労働者」「労組がある職場の人、ない職場の人」「労組の執行部で皆の要求をどう組み上げればいいのか、どう組織すればいいのか悩んでいる人」「一般労組員で執行部に不満のある人」など多種多様な職場や立場から13人が参加。クロストークを展開しながら労働とは何か、賃金とは何かの基礎から学び始めました。長いスパンで続けていきますので、これからの参加もお待ちしております。

# 「核廃絶ヒバクシャ国際署名」の取組み

世界で数億人の目標で取組んでいる「核廃絶ヒバクシャ国際署名」が伊那市内でも進められおり、11月末現在、把握できた地域の状況は次のとおりです。

## ■東東地域の九条の会

独自の署名用紙を活用し、毎月定期的に日影地域などを訪問し101人分を集めています。

## ■「ヒバクシャ国際署名西箕輪の会」

3千人目標を掲げ、月2回の統一行動を粘り強く続け683人になっています。

## ■東春近地域

人口の3分の1、1800人の目標を掲げ民主団体が推進しています。九条の会は、全会員に用紙を届け、回収。会員の酒井さんは、上伊那中の知り合い宅を訪問し160人から集めています。医療生協支部は、毎月2〜4回高齢者訪問と組合員増

## 「小規模保育園休廃園基準」は廃止に

### 飯島光豊

**市議の窓**  
市議会は、14日に開いた議員懇談会で、市の施策・事業評価の提言を了承しました。内容としては、総合支所組織全般の在り方、「小規模保育園旧廃園基準」、「道路維持補修」などです。私が担当した「小規模保育園休廃園基準」については、「廃止」すべきとの施策評価を下しました。

市の休廃園基準によれば、大園率50%または30人以下になつた小規模保育園は、当面休園(経過措置5年)とし、大幅な児

童数の増加がなければ廃園となりません。実際、小規模保育園地域に暮らす市民には、この基準に合わせるために多くの負担と困難を強いています。しかし、「基準」の根拠となる法令はありません。それどころか、地方自治法244条では、市は「正当な理由がない限り、住民が公の施設を利用することを拒んではならない。」「不当な差別的取り扱いをしてはならない。」と定めています。

提言は、12月中にも、市議会議長から市長に提出されます。

やしなどで、署名用紙を必ず片手に持ち、集めています。50人になっています。

### ■新婦人伊那支部

毎月スーパー前や産直市場前などで呼びかけ606人分を集めています。

## 飯島杯ゴルフコンペへ

飯島光豊伊那市議後援会は、11月7日伊那エースCCで第7回飯島杯ゴルフコンペと懇親会を開催。15人が参加して交流を深めました。



優勝は飯島隆さん、準優勝は戸田清さん、3位は唐沢勝男さんでした。

## 東日本大震災被災地に支援

しんぶん赤旗読者や党員のみなさんから託された、お米や野菜、募金などの支援物資を、11月29日岩手県大槌町へ発送致しました。物資を寄せていただいた皆さんに厚くお礼を申し上げます。

11月29日  
共産党上伊那地区委員会

## 上伊那の米価闘争

境 有賀 光良

### ベトナム侵略反対・生活擁護めざす 九・一二全国百万人集会

一九六五年九月の、この集会は県下四ヶ所で六千人、伊那市会場の南信集会には、上伊那地区評関係の労働組合、農民組合、各地の連合青年団など三千人が参加し画期的な成功をおさめました。

上伊那労働会議は、この集会を「低米価抗議・出荷拒否闘争の実力行使第一弾」として、二万枚のビラと宣伝カーで集会参加を呼びかけ、当日約三百名の農民が「要求貫徹」冷害農民を救え」など要求を大書したムシロ旗をかかげて参加しました。

上伊那労働会議の池上武彦事務局長(後に労働会議議長・共産党伊那市議)は「第二次米価闘争は、米を武器に農民の権利を守るたたかいである。上伊那労働会議は、労働者・農民の共同組織として、意識的に農民集団と政治課題とを結んで、民主勢力と手をにぎつてたたかう。そこにこそ、農民が生きる道があるからだ」と決意を表明しました。

## 「出荷延期は十月十五日までとせよ」

八月三十一日にひらかれた、上伊那米価対策委員会の全体委員会は満場一致で、米の出荷延期は十月十五日までとせよ」と決議しました。また、早出米に加算される「早出奨励金の実損を補償するために、一俵当たり5円の連帯金を出し合うこと」も決めました。



## 随想

## 総選挙結果に思う(1)

長谷 横山 良一 (70)

総選挙の結果を見て、マスコミ予測の的中を改めて確認した。合わせて、共産党は、得票率15%・得票数850万票を目標にしていたが、7・9%・440万票だった。前回2014年は、11・4%・606万票。長野県党は、20%・20万票の目標に対して、11%・11万票で、前回の14・85%・14万票から大きな後退となった。敗因の一つに自力不足が挙げられたが、自力不足は、長年言われ続けられて来ている。

自力不足の要因は、表面的には党勢の後退とされるが、そこにどまっていたのでは、党勢の発展は認めないと思う。28年前の1989年11月に、「青年分野の『広大な空白』克服のための全党的とりくみの強化を」(『赤旗』無署名論文)が出ました。思うに、この論文が採り上げた「現代青年の特徴と『柔軟で新鮮』な接近」、 「学生分野の活動の強化方向」、 「青年分野の対策」とくに高校生、青年労働者」での課題で成果を収めることができていることを自覚させられた。

こう感じたのは、18歳選挙権の実施が昨年の参院選に続いて、最初の総選挙だったが、若者の投票行動は、低い投票率(全体53・7%、18歳50・7%、19歳32・3%)と「若者の自民支持・右傾化」とマスコミで報道されているからです。

## 催し案内

## ☆ 第34回 永久に不戦を誓うつどい

12月8日(金) 午後6時30分～8時30分  
飯島町文化館・大ホール 参加費 無料  
演題「伊那谷に疎開した陸軍登戸研究所・  
高校生たちとの調査」

講演者：木下 健蔵さん  
主催：上伊那地区憲法を守る会・  
上伊那地区労働組合会議

連絡先：地区労事務所 (72-5148)

## ☆ いぬ年(2018年)を語る集い

12月9日(土) 午後2時～  
場所：旧おらほ 会費 1000円  
主催：日本共産党東春近ファンクラブ  
連絡先：戸田 (78-1467)  
渡辺 (72-4748)

## ☆ 1日2本立て映画観賞会

12月10日(日) 午前10時30分～午後4時  
場所：まつり工房  
参加費：500円(昼食カレー付き)  
午前 「いのちありて」(伊那高女学徒動員の記録)  
午後 「この世界の片隅に」(原爆アニメ)  
主催：西春近9条の会  
連絡先：酒井 (73-4547)  
(携帯 080-5145-4547)  
北原 (78-6662・まつり工房)

## 風物詩

## お菜洗い



漬物王国信州の冬を代表する野沢菜漬。温泉のお湯を使って野沢菜を洗う利用者(みはらしファーム内・12日まで利用可)

## ☆ アベ政治を許さない行動

12月3日(日) 午後1時～  
ベルシャイン前・手良中坪交差点  
主催：九条の会など

## ☆ 共謀罪法廃止行動

12月11日(月) 午前7時半～8時  
平成大橋たもと 共産党が呼びかけ

## ☆ 戦争法廃止行動

12月19日(火) 午前7時30分～  
竜東橋北交差点・三峰川橋たもと  
主催：九条の会など

## ☆ 「脱原発」いな金行動

毎週金曜日午後6時～6時半  
いなっせ北側広場(さよなら原発上伊那の会)